

記事検索

FAX版PDF

処方箋の受け付け後、待たせず医薬品の郵送も 「グレーゾーン解消」の新薬局、都内事業者が多店舗展開へ

トピックス 薬局 [11月15日 16:19]

スクラップ



調剤薬局を経営する未来の薬局（新宿区）は15日、産業競争力強化法に基づく制度を利用して、「グレーゾーン」の解消を図った新たな処方箋調剤サービス「おくすりカウンター」の店舗を今後、年間3店舗程度、出店していくと発表した。都合の良いときに待ち時間なしで薬が受け取れる店舗を各沿線の駅近くで展開する計画。すでに東京・JR神田駅近くのビル1階に「おくすりカウンター神田店」（千代田区）を開業。12月には都内に「グランデュオ蒲田店」、来春には「武蔵境店」を出店する。

【写真】JR神田駅近くの「おくすりカウンター神田店」

●駅近くに年間3店舗程度を出店

同社が展開する「おくすりカウンター」は、駅近くという生活動線上に位置する保険調剤薬局。患者がスマートフォンなどで事前に処方箋の画像を送信し、ウェブで会計を済ませることで、会社帰りなど好きなタイミングで待ち時間なしで薬を受け取れるという。

薬は受け付けから最短2時間後に受け取りが可能で、店頭での支払いもできる。処方箋を店舗に持参した場合はその後、郵送で薬を受け取れるサービスも行っている。同社ではスマホでいつでも薬剤師に相談できる仕組みも準備中としている。

同社によると、郵送をする場合には、薬剤が手元がない状態で先に服薬指導を行う必要があるため、医薬品医療機器等法第9条の規定に抵触する懸念があったが、経済産業省の「グレーゾーン解消制度」を利用し、厚生労働省から今回のモデルでは「規定には抵触せず問題ない」との回答書を得た。厚生労働省はこれまでのじほうの取材に対し、「今回の見解は照会のあった事業者のサービスに対するもので、包括的な法解釈ではない」とし、対面で服薬指導した上であれば全て薬剤の郵送を認めるわけではないとしている。

同社は調剤薬局の運営を目的に今年3月、設立した。

戻る

トピックスの最新記事

一覧はこちら RSS

衆院選、重点候補の自民党24人が全員当選 日薬連盟・岩本幹事長、本田氏の参院選に向け「良い機会」 (10月26日 11:33)

広島県薬「ポリファーマシー」解消へ協会けんぽと連携 多剤処方者に通知、薬局で服薬内容見直し (10月25日 4:53)

アクセスランキング

無資格調剤の元保険薬局、「指定の取消相当」に 近畿厚生局
日本調剤 基準調剤算定店舗は半数超え、基本料「1」が8割に
日本調剤・三津原専務 3大都市圏で「ハイブリッド型」の出店加速
調剤技術料に集中砲火、全体水準引き下げめりはりを 行改推進会議、調剤...
片頭痛など7成分のスイッチ化否決、妥当は1成分のみ 新スキーム評価検...

カレンダー

2017年11月						
<	日	月	火	水	木	金
				1	2	3
	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27
	28	29	30			

主な予定

11月17日(金) 中央社会保険医療協議会 (9:00~12:00、厚生省)

スクラップ記事

一覧はこちら

在宅で医療用薬受け取り、「阻害要因」を総点検 規制改革推進会議WG、...

遠隔医療で「調剤薬局は店舗の立地戦略見直す必要も」 みずほ銀行がリポ...

JPとの処方薬宅配サービス、薬剤師の負担軽減に メディシス、医薬品よ...

25年めどに全薬局を「かかりつけ」に再編 塩崎厚労相、諮問会議で表明...

将来の適正薬局数、4割が「過剰」に 福岡県薬が「グランドデザイン」...